

新年の抱負

年が明けて、2022年、令和4年となりました。皆さんは、「新年の抱負（ほうふ）」を考えたことでしょうか。「抱負」とは何でしょうか。似ている言葉としては、目標が挙（あ）げられます。抱負と目標は違うのでしょうか。例えば、新年の目標とは、あまり言いません。3学期の抱負とも言いません。

抱負とは、心の中で温（あたた）めている、心の中に抱（いだ）いている決意や志望、計画のことです。一方、目標は、あることを成し遂げるために設けた到達点、ゴールのことです。

学校では、新年の抱負を書いたり、言ったりする機会があります。それは、自分の心の中にある決意を表現する大切な場となります。抱負を考えることで、自然と自分の目標や目的が明確になります。

例えば、「県大会に出場する」と「県大会に出場できるように、毎日2時間集中して練習をする」とでは、どちらが意志の強さを感じるでしょうか。後者の方ではないでしょうか。この場合は、前者が目標で、後者が抱負となります。

同様に、「〇〇高校に合格する」と「〇〇高校に合格するために、毎日5時間勉強する」とでは、どうでしょうか。前者が目標で、後者が抱負となります。抱負は計画、目標はゴールです。

目標は、よく使う言葉です。それに対して、抱負は、しょっちゅう使う言葉ではありません。新しい年や新しい学校や職場といったように、新しい環境に入った際に使うことが多いようです。

1年生の皆さんは、中学校生活の抱負を覚えていますか。3年生の皆さんは、間もなく高校生活の抱負を考えることになるでしょう。抱負の土台となるのは、自分はこんなことをやりたい、こうなりたいという望みです。その望みが強くなり決意となります。

皆さんが、お正月に考えた「新年の抱負」は、抱負と言えるものになっていますか。意志の強さがありますか。今一度、見直してみましょう。願いだけではなく、きちんと自分の計画は入っていますか。抱負は、何度も考えるものではありません。それだけに、重要なものとも言えるのです。自分にとっての大切な「抱負」を立ててから、新しい年をスタートさせましょう。